

2023年12月期 決算説明資料

2024年3月7日

株式会社グローバルインフォメーション

東京証券取引所スタンダード市場 4171



1. 会社概要
2. 2023年12月期 決算概要
3. 2024年12月期 業績見通し
4. トピックス
5. 株式会社ギブテックについて

1. 会社概要
2. 2023年12月期 決算概要
3. 2024年12月期 業績見通し
4. トピックス
5. 株式会社ギブテックについて

2023年12月31日現在

社名	株式会社グローバルインフォメーション Global Information, Inc.
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. 市場調査レポートの販売 2. 委託調査の受託 3. 年間情報サービスの販売 4. 国際会議・展示会の代理販売
経営理念	当社は最適な市場情報をタイムリーに提供することにより、お客様の意思決定を支援し、各業界の意義ある活性化に貢献し、ひいては社会の発展に寄与する。社員がひとりひとり責任と誇りを持って満足して働く環境を創出する。
設立	1995年1月
代表者	樋口 荘祐
資本金	162,509千円
従業員数	64名（非正規社員、連結子会社含む）
連結子会社	1社（株式会社ギブテック）
株主数	1,531名

2023年12月31日現在

社名	株式会社ギブテック （英語表記：Giv-Tech, Inc.）
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. LPWAネットワーク機器の製造・販売 2. LPWA通信ネットワークの導入・運用支援サービス
設立	2020年1月
代表者	樋口 荘祐
資本金	83,250千円
主要株主	株式会社グローバルインフォメーション

**お客様にとって真に価値のある情報を精査し、
お届けすることが私たちの使命です。**

世界の先端分野の市場動向や技術動向。その最新情報を40年以上お届けしてきました。

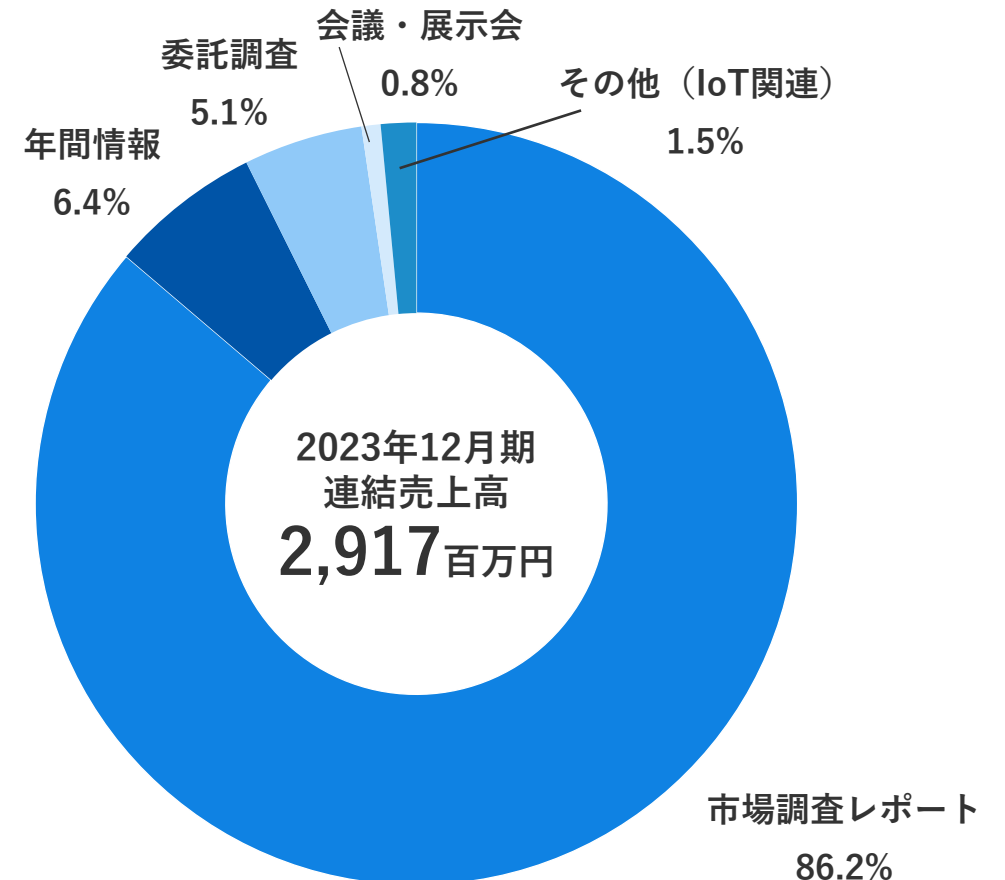
当社は世界5か国に拠点を持ち、200社を超える調査会社と代理店契約を締結する市場情報提供会社です。お客様の情報ニーズに的確にお答えする市場調査レポート、カスタム調査の提案を通じ、総合的な情報サービスを提供しています。お客様の意思決定を支援し、事業展開に寄与できる市場情報をタイムリーに提供し、各業界・産業界の活性化に「情報」というフェイズから貢献します。

市場調査レポート販売を主力とする「市場・技術動向に関する情報提供事業」に加え、
連結子会社の株式会社ギブテックにて「その他（IoT関連）事業」を展開

■ 市場・技術動向に関する情報提供事業

- 市場調査レポート
- 委託調査
- 年間情報サービス
- 国際会議・展示会

■ その他（IoT関連）事業



事業系統図

顧客から受注後⇒仕入先に発注となるため、在庫を持たないビジネスモデル



1. 会社概要
2. 2023年12月期 決算概要
3. 2024年12月期 業績見通し
4. トピックス
5. 株式会社ギブテックについて

2023年12月期 連結決算 損益計算書サマリー

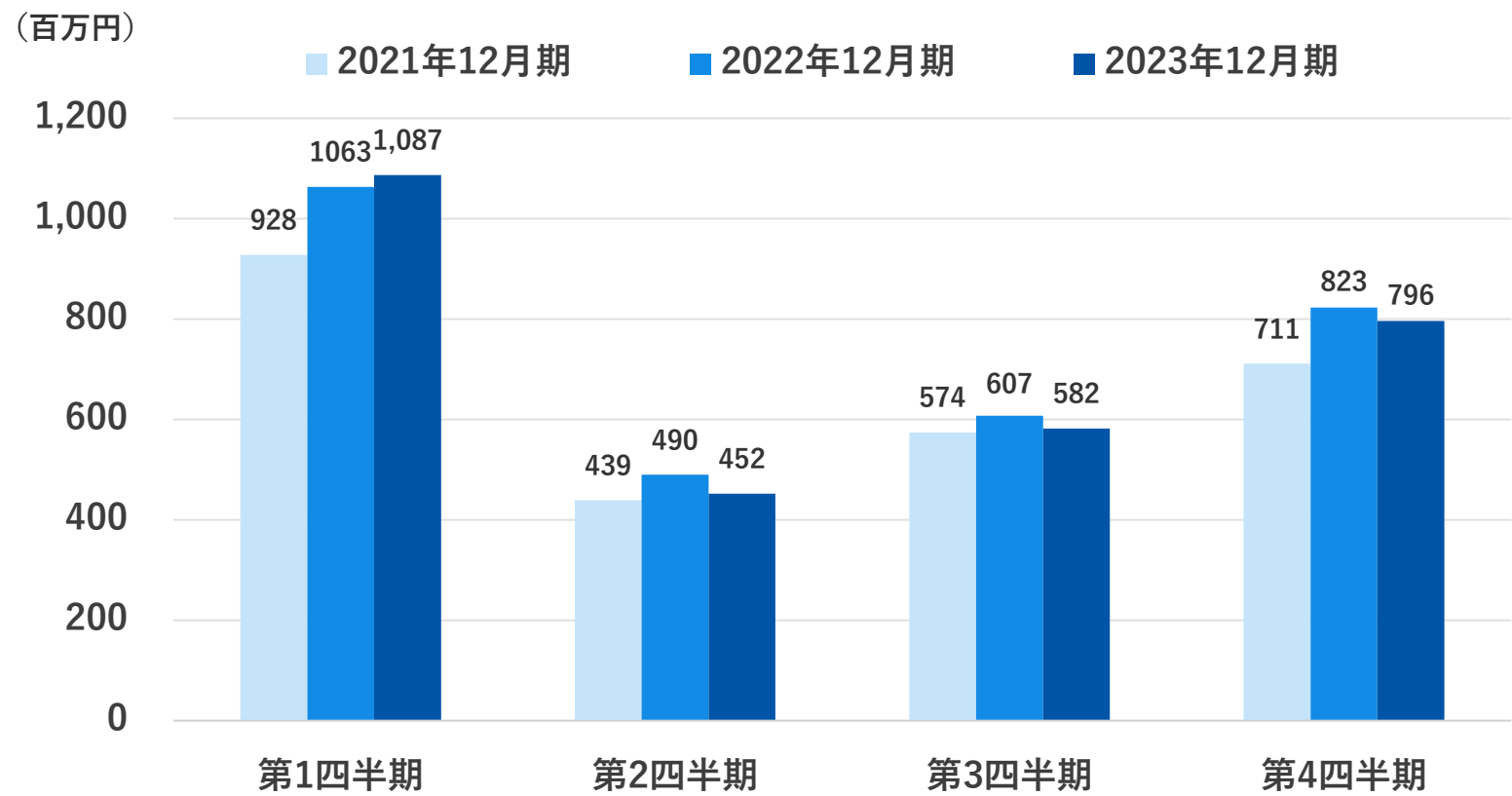
売上高：前期比2.2%減、営業利益：前期比16.0%減で減収・減益

(百万円)	2022年12月期		2023年12月期		前期比 増減	対前期 増減率
		売上高比 (%)		売上高比 (%)		
売上高	2,984	—	2,917	—	▲66	▲2.2%
売上総利益	1,390	46.6	1,348	46.2	▲42	▲3.1%
販売費 及び一般管理費	763	25.6	821	28.2	57	+7.6%
営業利益	626	21.0	526	18.0	▲100	▲16.0%
経常利益	648	21.7	565	19.4	▲82	▲12.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	438	14.7	382	13.1	▲55	▲12.6%

四半期ごとの売上高推移

第1四半期は増収も、第2四半期以降は前年同期比減収

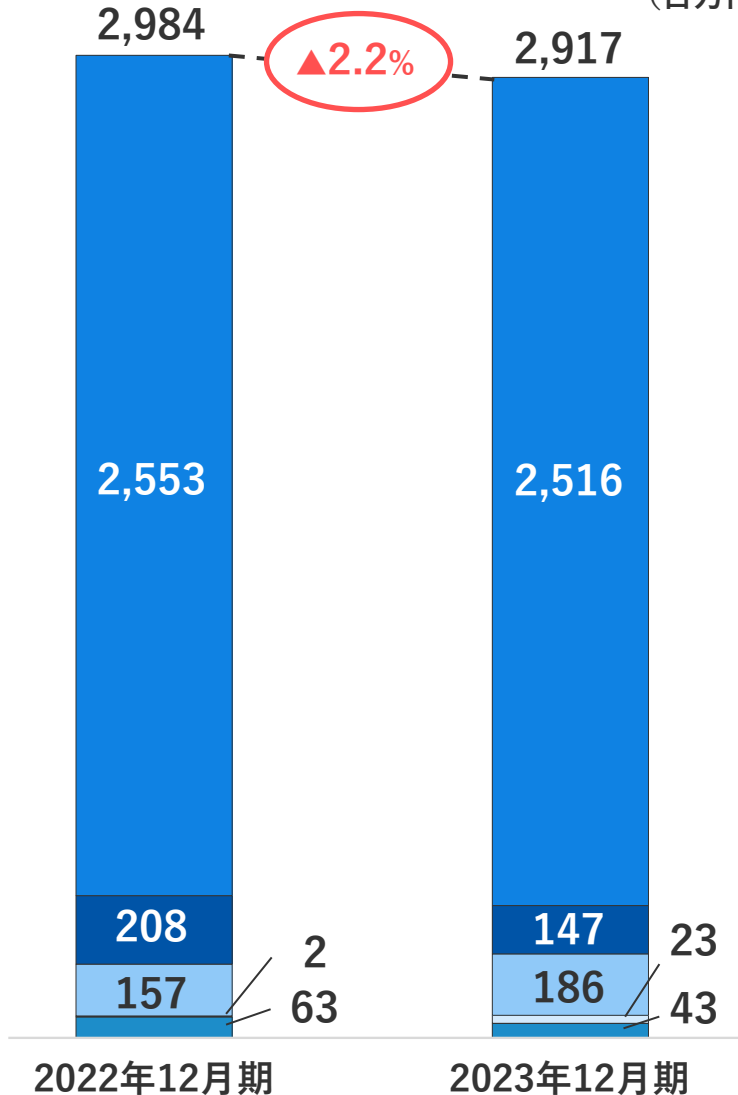
■ 四半期ごとの売上高（vs 過去2期間）



各事業の状況

■ 事業区分別売上高

(百万円)



市場調査
レポート

種々の集客施策により獲得リード件数は前期とほぼ横ばいも、円安による単価上昇の影響を受け、受注件数は前期を下回った。海外においては、韓国支店が景気低迷に伴い、不調。売上高は前年同期を**1.4%**下回った。

委託調査

顧客企業の予算縮小等の影響を受け、高額の調査案件を中心に受注は伸び悩み、下期若干挽回したものの、売上高は前年同期比**29.4%**減少となった。

年間情報
サービス

下期も上期の好調を維持し、国内外で新規・継続受注共に増加傾向が続き、売上高は前年同期を**18.8%**上回る結果となった。

国際会議
・展示会

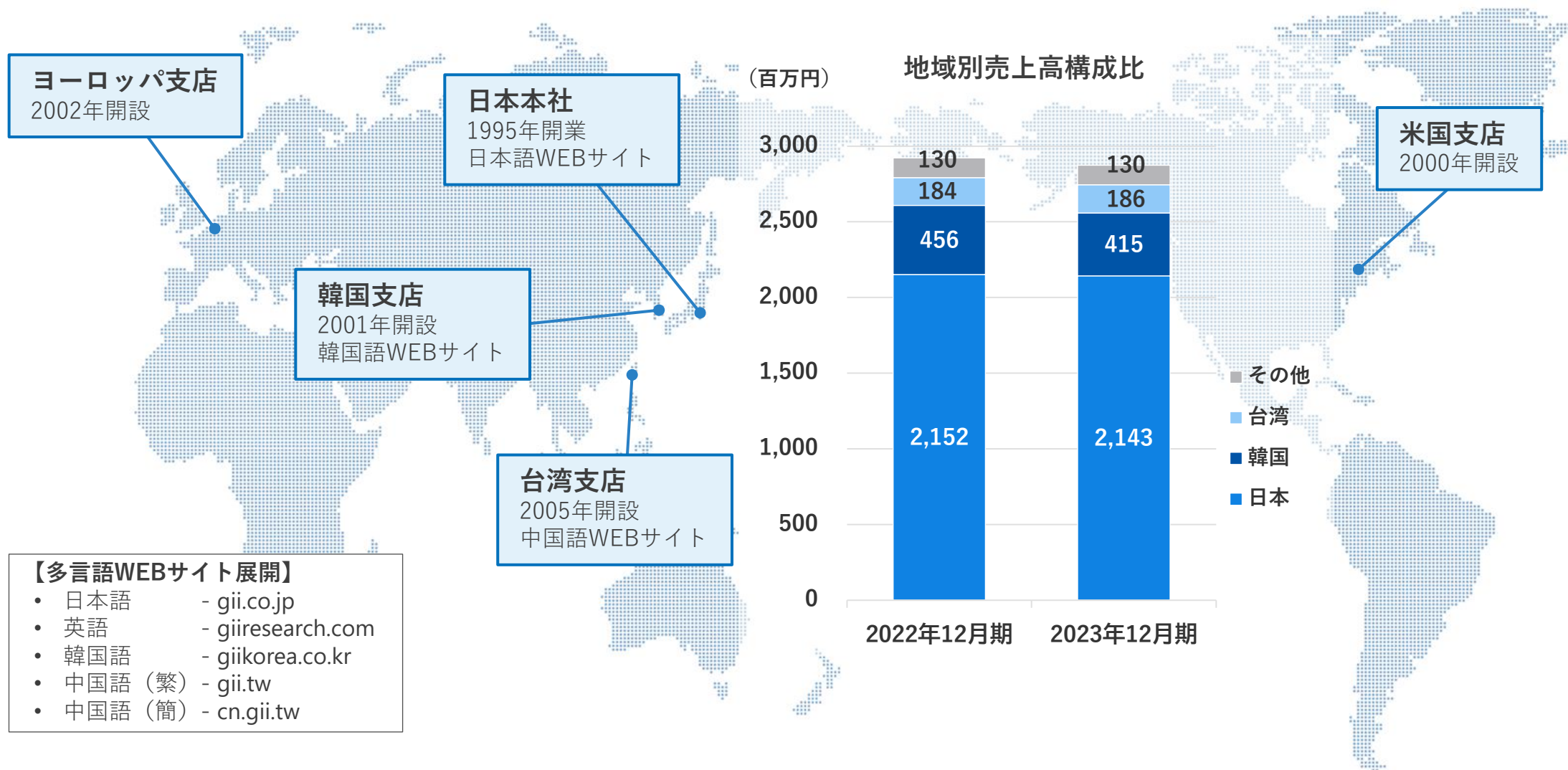
国内では新型コロナウイルス感染症対策の制限緩和に伴い、国際会議の取扱いを再開し、大きく売上拡大。

その他
(IoT関連)

主要顧客の設備投資計画の遅れ等の影響により売上高は前期を下回った。来期以降、遅延した案件への納入は増加見込み。

拠点別売上高構成

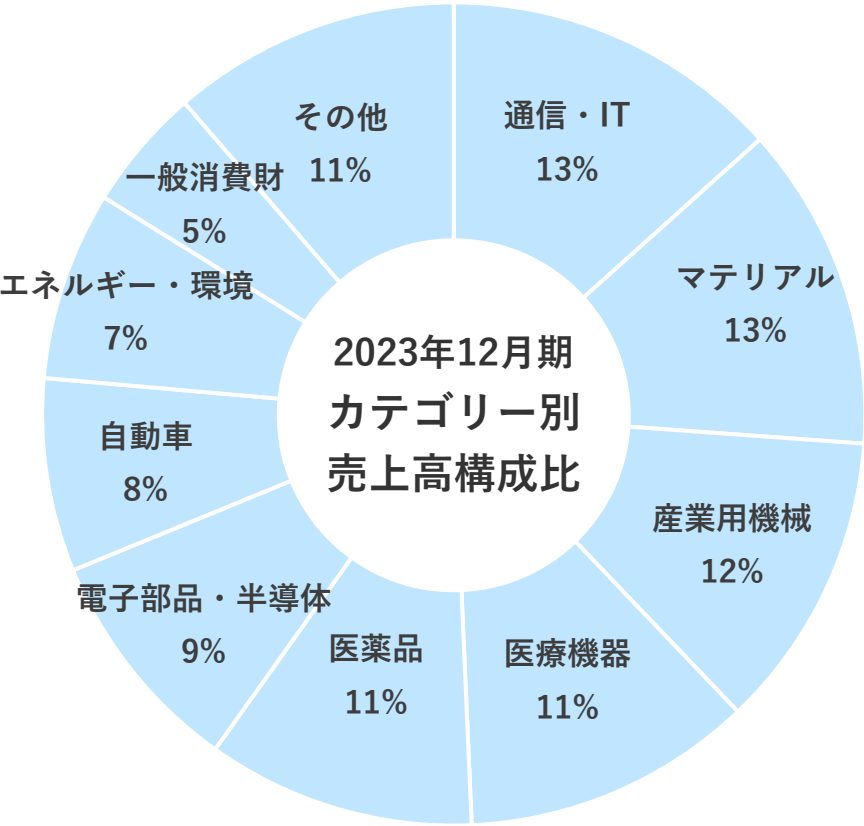
日本国内の売上比率約75%、台湾で増収も日本、韓国では僅かに減収



カテゴリー別売上高構成

「通信・IT」「産業用機械」「医薬品」が好調、「マテリアル」「医療機器」はシェア低下

カテゴリー別売上高構成比及び調査トピック例



カテゴリー	調査トピック（一例）
通信・IT	人工知能（AI）、IoT、サイバーセキュリティ、データセンター
マテリアル	バイオベース化学品、炭素複合材料、グリーンアンモニア
産業用機械	工場自動化（FA）、無人搬送機（AGV）、電動建設機械
医療機器	3次元細胞培養、分子診断検査、デジタルパソロジー
医薬品	バイオシミラー、医薬品受託製造（CDMO）、遺伝子治療薬
電子部品・半導体	半導体製造装置、炭化ケイ素（SiC）、窒化ガリウム（GaN）
自動車	自動運転、MaaS、急速充電ステーション、低速車両、eバイク
エネルギー・環境	電池製造装置、全固体電池、バイオ燃料、合成燃料、水素発電
一般消費財	アニメ、ボードゲーム、ウェブトゥーン、グランピング
航空・宇宙	物流用ドローン、eVTOL、低軌道（LEO）衛星、宇宙旅行
食料・飲料	完全栄養食、培養肉、プロバイオティクス、植物性代替肉
インフラ	廃水処理、システム建築、鉄道自動運転、海水淡水化技術
金融・保険	サイバー保険、AI保険、後払い決済（BNPL）、暗号資産ATM

自己資本比率は78.3%となり、引き続き財務状況は健全

(百万円)	2022年12月期末	2023年12月期末	前期末比 増減
資産合計	2,751	2,923	171
流動資産 (うち 現金及び預金)	2,667 (2,235)	2,840 (2,400)	172 (164)
固定資産	83	83	▲0
負債合計	701	633	▲67
流動負債	424	343	▲80
固定負債	276	289	12
純資産合計	2,050	2,290	239
自己資本比率	74.5%	78.3%	—

1. 会社概要
2. 2023年12月期 決算概要
- 3. 2024年12月期 業績見通し**
4. トピックス
5. 株式会社ギブテックについて

2024年12月期 通期業績見通し

前年対比売上高+9.9%、営業利益+9.2%、第30期記念配当+5円を予定

(百万円)	2023年12月期		2024年12月期 (予)		前期比 増減	対前期 増減率
		利益率 (%)		利益率 (%)		
売上高	2,917	—	3,206	—	289	+9.9%
営業利益	526	21.0	574	21.4	48	+9.2%
経常利益	565	21.7	573	21.4	8	+1.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	382	14.7	389	14.2	7	+1.7%
一株当たり配当金 (円)	52.00	—	57.00 _(※)	—	—	—

※第30期記念配当5円を含む

セグメント・事業区分		要 因	売上高 前期比見通し
市場・技術動向に関する情報提供事業	市場調査レポート事業	✓ ウェブサイト掲載商品ラインナップの拡大 ✓ AIチャット対策を含む検索エンジン対策（SEO）強化 ✓ 各種広告出稿によるGIIブランドの認知度向上 ✓ 仕入先調査会社との連携強化（情報共有、リード共有、等）	+7.8% （+225百万円）
	委託調査事業	✓ レポートのカスタマイゼーション対応から単価の高い委託調査案件へのアップセルを狙う ✓ ウェブサイト委託調査ページコンテンツの拡充	
	年間情報サービス事業	✓ ReportLinker™（後述）をはじめとする複数の新たな形態のサブスクリプション商品の取扱い開始を予定	
	国際会議・展示会事業	✓ 顧客企業の海外渡航制限の緩和にあわせて海外開催会議への参加も活発化すると予想 ✓ 提携イベント会社及び取り扱い商品を大幅に拡大	
その他（IoT関連）事業		✓ TOPPAN株式会社『e-Platch™』への製品納入 ✓ 地方自治体によるスマートシティ案件の受注増加 ✓ 他社との協業による製品販路の拡大 ✓ 展示会DXツールAiMeetの拡販	+141.2% （+61百万円）

中長期的な持続的成長及び経営環境の変化に耐えうる経営基盤充実のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする

今期は第30期を迎えた記念として記念配当+5円（期末配当）を実施予定

	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (予想)
配当性向	40.4%	43.2%
一株あたり配当金（円）	52.00	57.00

第30期記念配当
+5円

1. 会社概要
2. 2023年12月期 決算概要
3. 2024年12月期 業績見通し
4. **トピックス**
5. 株式会社ギブテックについて

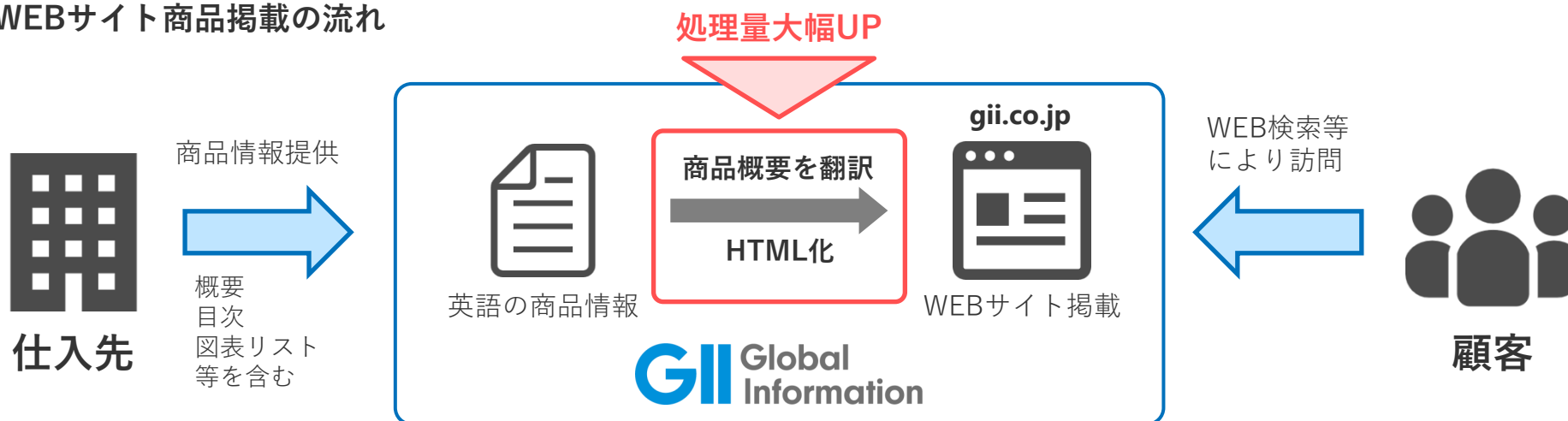
ウェブ掲載レポートラインナップ拡大

機械翻訳ツールの活用により商品紹介ページの作成スピード大幅UP

2023年12月末時点におけるウェブサイト掲載商品数は**24万点超**

顧客の情報ニーズに合わせてレポートの一部カスタマイゼーションにも対応（原則無償）

当社WEBサイト商品掲載の流れ



2022年作成数：102,000件 ⇒ 2023年作成数：178,000件

2024年12月期も機械翻訳の活用を進め、商品紹介ページ作成数の増加に引き続き努める方針

AI開発企業ReportLinker社（仏）と提携開始

フランス・リヨンを拠点とするAIソフトウェア開発企業と業務提携開始



ReportLinker

AIを搭載した市場・競合情報検索プラットフォーム
「**ReportLinker™**（レポートリンカー）」を日本国内で展開予定

ReportLinker™の下記2つの機能によりユーザ企業の市場・競合調査に掛かる時間を大幅に削減可能

スマート検索

- ✓ 独自のAI学習モデルによりウェブ上に溢れる情報からユーザの検索条件に合致する適切な市場・競合情報を検索結果として提供
- ✓ プラットフォームに用意された様々なフィルター機能により更に細かい検索条件を追加することも可能

レポート出力

- ✓ スマート検索により得られた検索結果はユーザの望む言語・形式に合わせてAIによって要約されたレポートとして出力が可能
- ✓ 文書、グラフ、表、プレゼン資料等様々な形式をチャットで指定可能

上場維持基準の適合に向けて

流動比率向上を目的に2024年2月に立会外分売を実施し、流通株式比率25%以上をクリア（見込み）

東京証券取引所スタンダード市場 上場維持基準

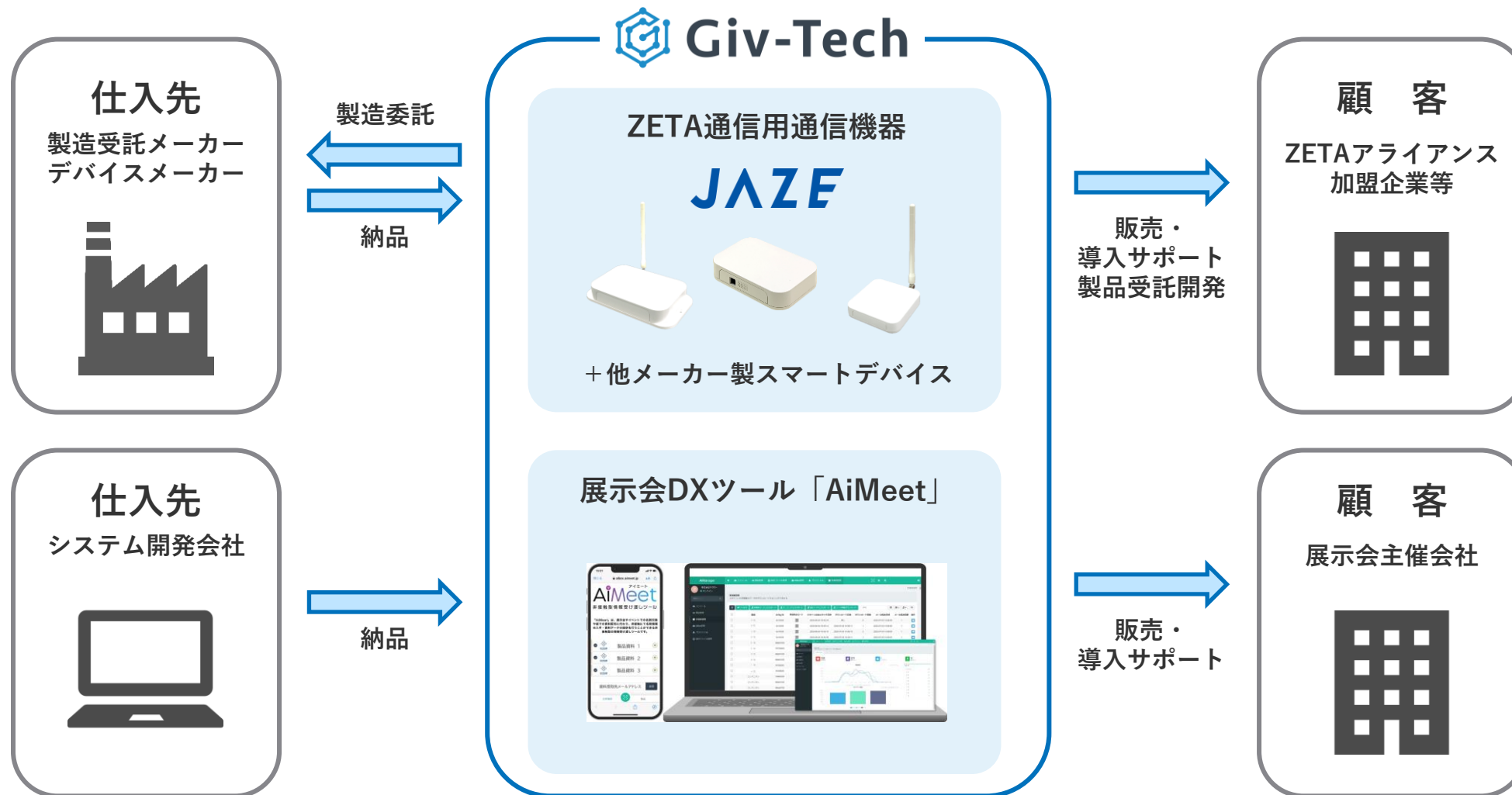
	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
上場維持基準	400	2,000	10	25

今回の分売により
維持基準達成見込み

1. 会社概要
2. 2023年12月期 決算概要
3. 2024年12月期 業績見通し
4. トピックス
5. 株式会社ギブテックについて

事業系統図

ZETA通信用自社ブランド「JAZE」製品の製造・販売と他社製ZETA通信デバイスの販売、
展示会DXツール「AiMeet」の販売の2つを主な事業とする



LPWA通信機器の販売

IoTネットワーク内で利用される低消費電力広域無線通信（LPWA）の通信機器を販売

■ ZETA通信（LPWA）の活用例

✓ スマートビルディング

温度・湿度、漏水検知、ドア開閉センサー等からのデータをZETA通信で受信し、遠隔制御が可能。ビル管理、警備に掛かる**コスト削減**。

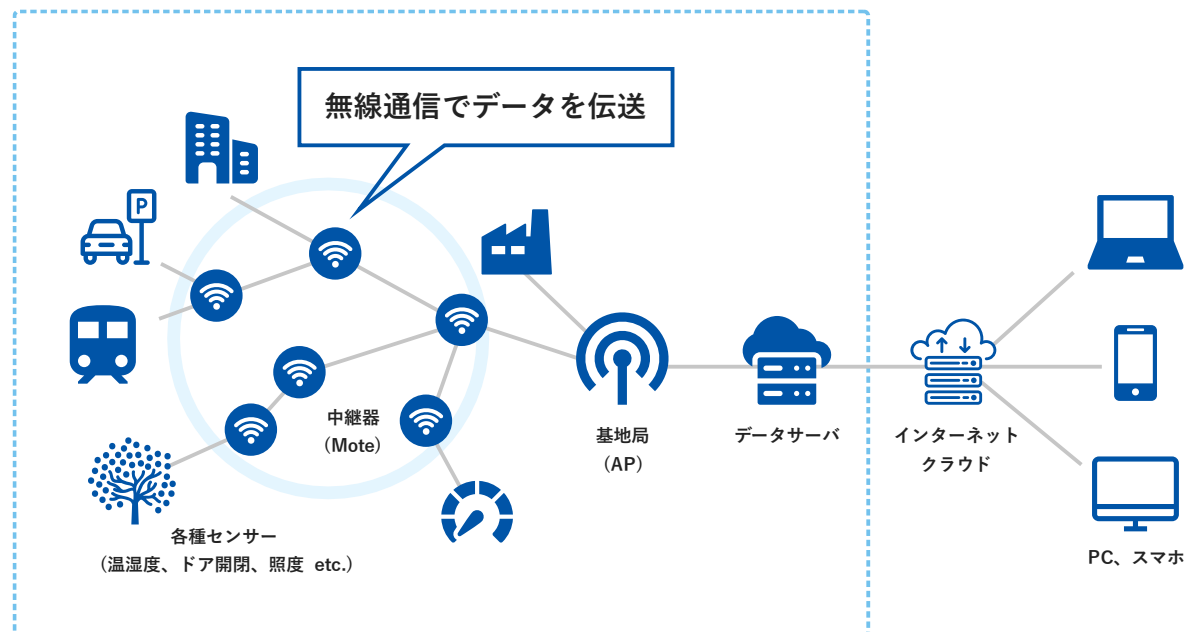
✓ スマートファクトリー

工場内の各種計装類からのデータをZETA通信でリアルタイム受信。人員削減による**コスト削減**やリアルタイム管理による**生産効率改善**。

✓ スマート防災

河川の水位等を遠隔地からリアルタイムに監視可能。自然災害の兆候をいち早く察知することで、**被害を未然防止**。

ZETA通信（LPWA）ネットワーク



非接触型情報受け渡しツール「AiMeet」の販売

展示会、講演会におけるペーパーレス化によるコストダウン、DXによる業務効率化を同時に実現し、環境に配慮した展示会やイベントの開催を後押し

来場者の入場証バッジのQRコードをスマートフォンでスキャンするだけ

CO₂削減 ペーパーレスで資料を渡しつつリード獲得



来場者向けウェブページ **AiVisitor** にアクセス

- ✓ 非接触で資料を入手
- ✓ ペーパーレスなのでエコで手軽
- ✓ 資料の確認・保管・共有が簡単
- ✓ 他言語対応! 国際展示会でも安心

出展者向けウェブページ **AiManager** にアクセス

- ✓ スキャンでリード獲得・リアルタイム共有
- ✓ 情報共有ですぐにアプローチ可能
- ✓ 来場者情報などの数値を可視化
- ✓ 経費削減・エコで社会貢献

資料を取った来場者の名刺情報が全て取得可能に

名刺を貰わずに、資料を取っていった来場者の名刺情報が、主催者を通して入手できます。

印刷費・輸送費のカット

紙媒体の印刷費用や輸送費用を削減できます。

紙媒体の準備・片付けも楽チン

大量のチラシの部数確認や梱包、会期中の増刷手配や会期後の返送処理などの手間が一切不要になります。

出展者のメリット

非接触で資料を入手

QRコードをタッチするだけで資料データを取得できます。

荷物にならず手軽

重くてかさばる紙のパンフレットはなくなり、チラシをPDF化する手間もなくなります。

すぐに情報を転送&共有

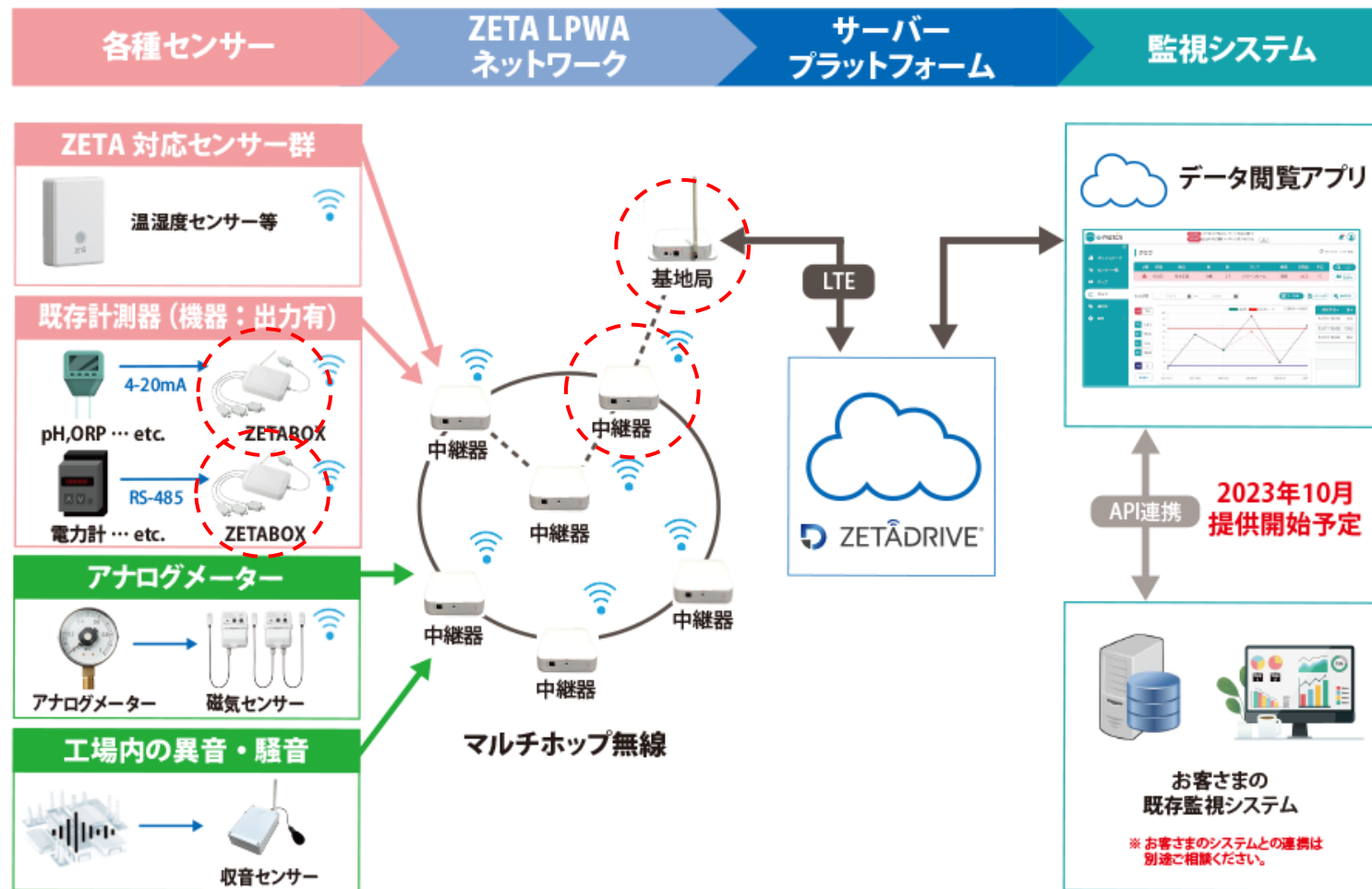
入手した資料データはスマートフォンからメールで転送が可能。同僚や上司への連絡にも。

来場者のメリット

TOPPAN株式会社「e-Platch™」 向けの取り組み

スマート点検支援サービス「e-Platch™」 向けに基地局、中継器、センサー等を供給

スマート点検支援サービス「e-Platch™」 システム構成図



TOPPAN株式会社ウェブサイトより

ZETA通信 R3へのバージョンアップ

ZETA通信はより高性能な第3世代（R3）にバージョンアップ

当社は前世代に引き続き、R3対応基地局（AP）、中継器（Mote）を製造・販売

ZETA R3の特徴

- FOTAに対応し、**遠隔ファーム更新**可
- 動作電圧が低く、電池寿命**25%改善**
- コンパクト化し、基板サイズ**25%縮小**
- R2との**後方互換性**あり



他社製のR3対応各種センサーも取扱い

より高性能になったR3対応デバイスの**拡販による売上向上**を期待

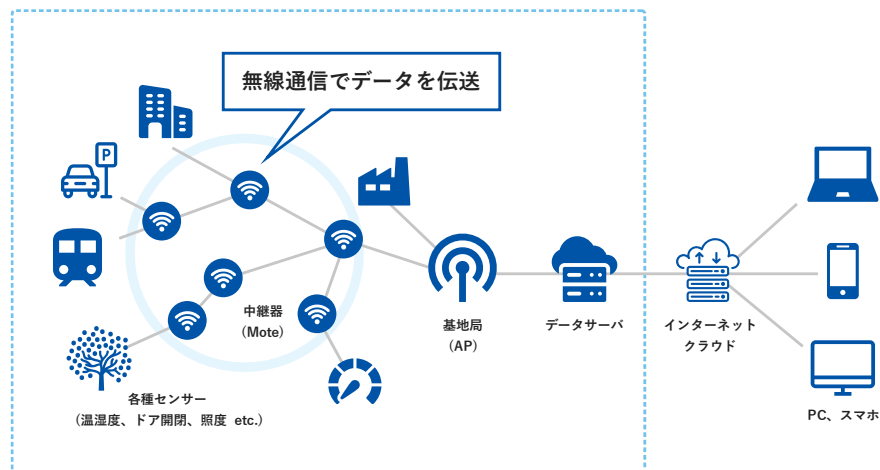
(株)設備保全総合研究所との技術連携

プラント・工場向け保全DXシステム「EMLink」の開発を行う(株)設備保全総合研究所とプラント・工場DXの実現に向けた技術提携を開始

両社の強みを活かしてプラント・工場におけるO&M（運転と保全）のDXを実現



無線通信による遠隔監視で**運転DX**



Equipment Maintenance Laboratory
株式会社設備保全総合研究所

設備・保全情報管理SaaSで**設備保全DX**

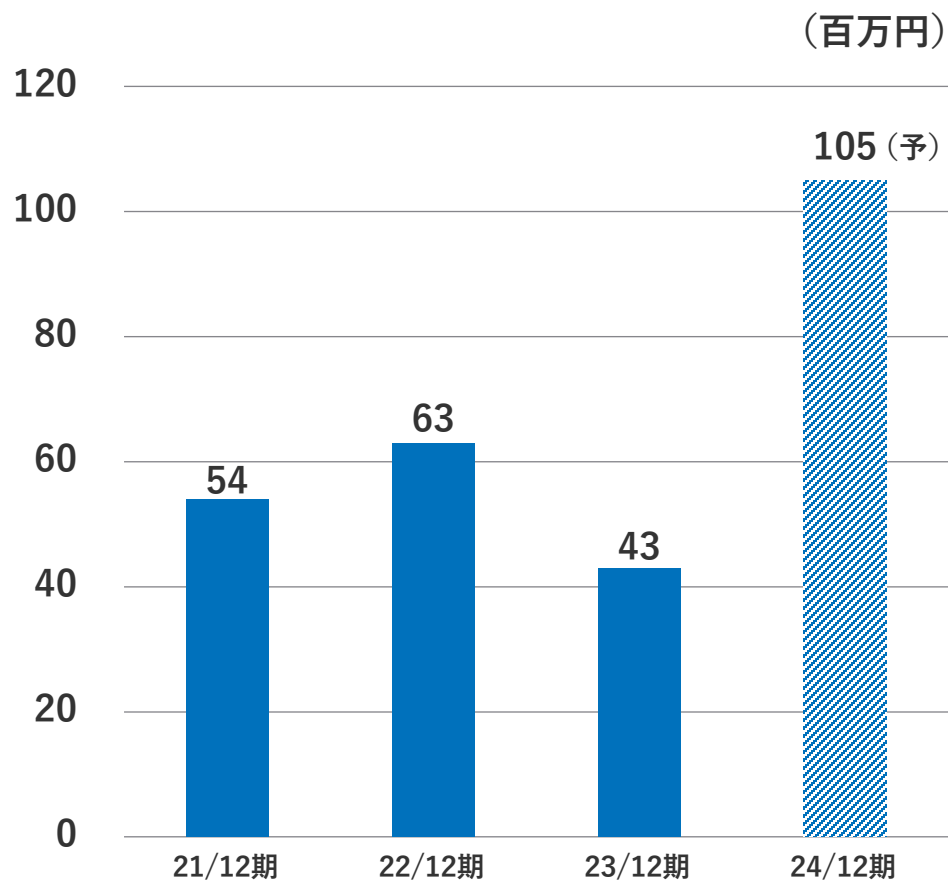


2023年12月期実績及び2024年12月期見通し

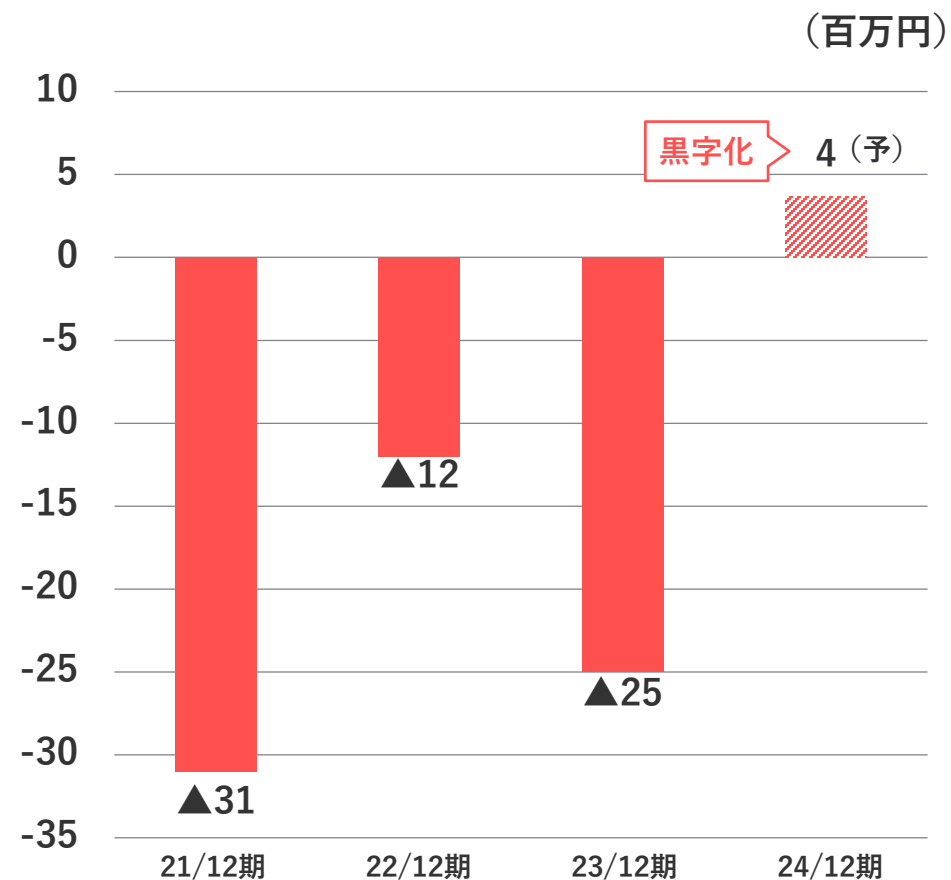
黒字化時期が当初想定より遅れ、前期末に株式評価損に伴う減損処理を実施

今期はTOPPAN(株)へのJAZE製品納入、R3デバイス等新たな製品の拡販により黒字化を目標

■ 売上高

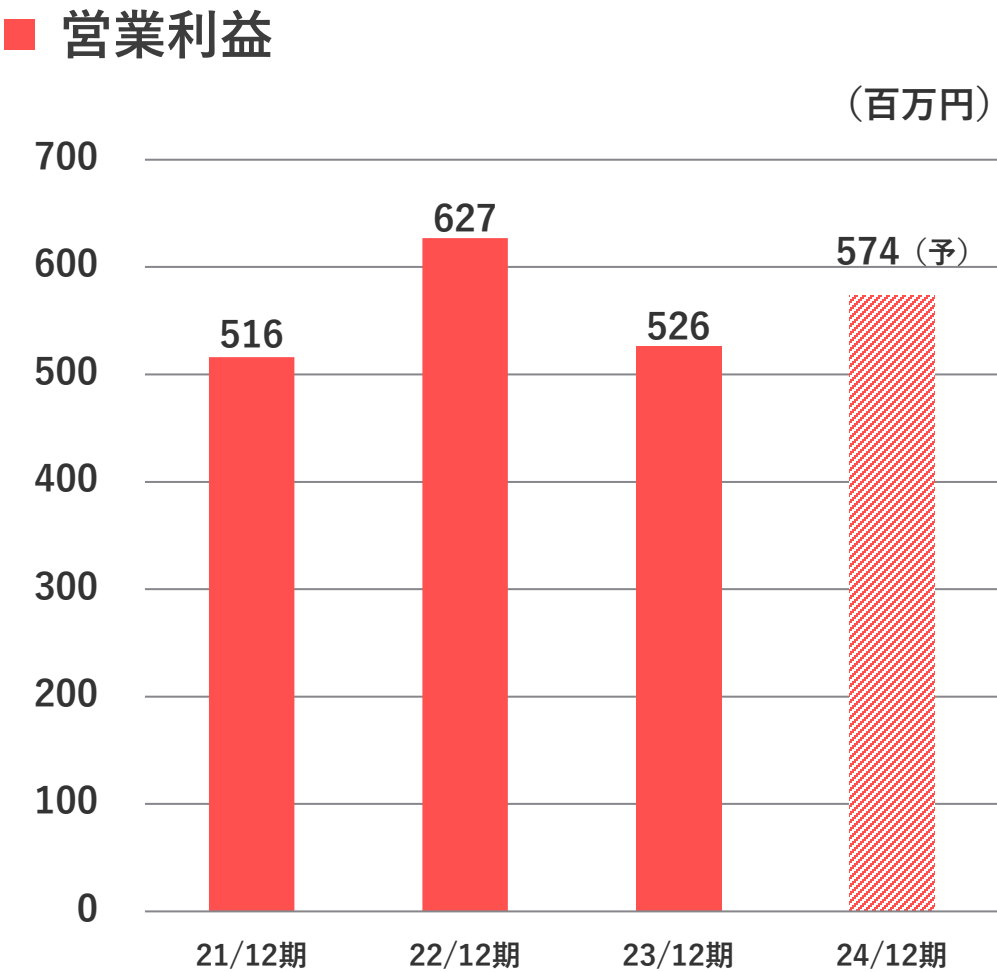
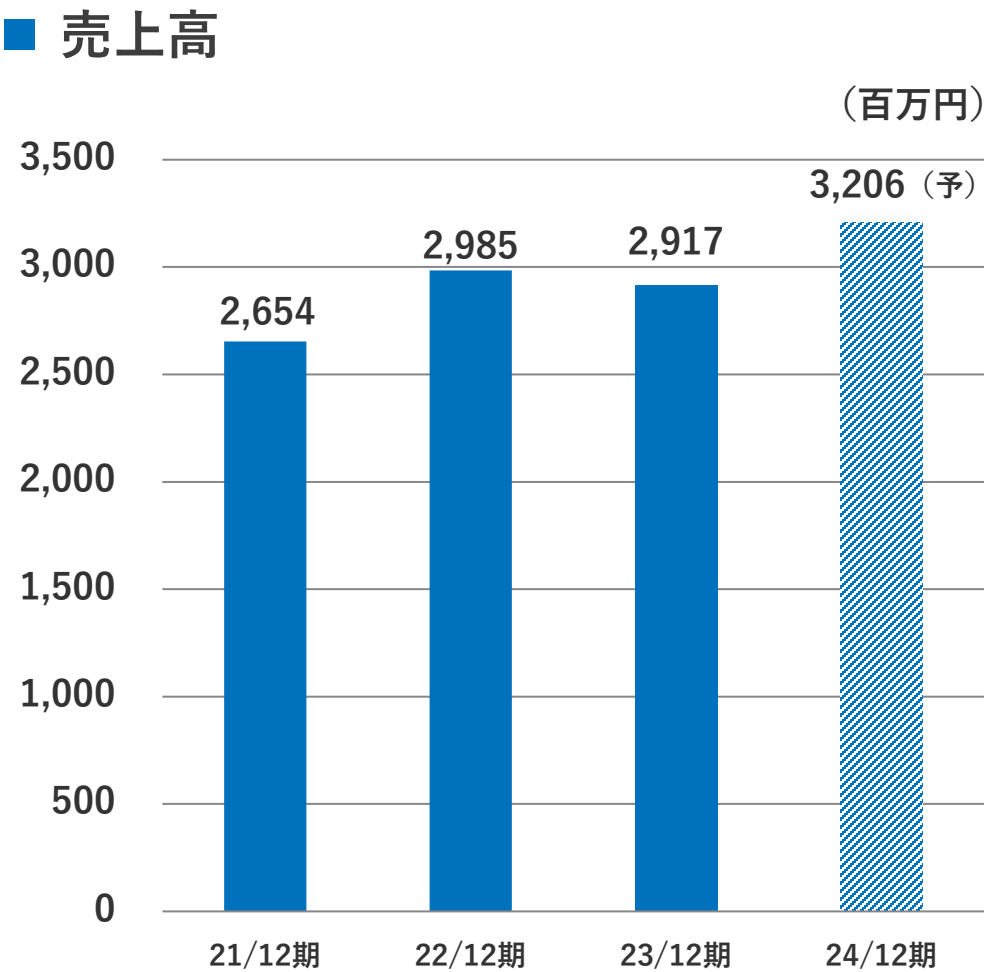


■ 営業利益



2024年12月期 通期連結業績見通し

市場情報提供事業、IoT関連事業の両セグメントで増収増益を予想
連結売上高で対前年+9.9%、連結営業利益で対前年+9.2%の見通し



■ 本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料発表当日現在で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

お問合せ先

株式会社グローバルインフォメーション 管理部 IR担当

E-mail: cpd@corporate.gii.co.jp

IRサイト: <https://corporate.gii.co.jp>